

第 377 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和 4 年 1 月 11 日 (火) 16:00~18:00
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] 東大生 西岡壱誠の西岡ゼミ
[放送日時] 令和 4 年 1 月 3 日(月)及び 10 日(月)20:30~21:00
[出演者] 西岡壱誠、西連地あゆみ

4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 委員 小野晃司
委員 服部乃利子 委員 加藤裕治

[会社] 代表取締役社長 井熊正浩
取締役編成制作本部長兼制作部長 杉山啓充
編成事業本部長代理 安田信章
制作部制作担当部長 寺田和史

5. 事務局報告

- 年末のラジコ聴取状況の件

6. 番組審議

[対象番組] 東大生 西岡壱誠の西岡ゼミ
[放送日時] 令和 4 年 1 月 3 日(月)及び 10 日(月)20:30~21:00
[出演者] 西岡壱誠、西連地あゆみ
[番組内容] 東大生で作家の西岡壱誠が、今ホットな話題から日常のさりげない出来事まで、独自の切り口で考察する 30 分。
[聴取・合評での主な意見]

服部委員

1/3 分では西連地の受け方に違和感。ドラマ登場人物の紹介といったフォローが必要だった。一方 1/10 は展開が良く、楽しく聴けた。西岡の話の巧みに引き出せていた。西岡は若さ、というよりは柔らかく落ち着いている。クセになるかもしれない。彼の様々な「勉強術」が具体的に開陳されると、リスナーの反応も出てくるのかもしれない。

加藤委員

聴き始めはヒロユキ氏的な調子かと思ったが、至極まっとうな考えの持ち主。2 人のやり取りも軽妙で楽しく聴けた。ドラマも観ていたので裏話が聴けて良かった。しかし毎回のテーマが一貫せず、まだ模索中という印象。中学校の教師や塾経営者がマッチしそうなリスナー層だ。また、スタートアップ起業家との関わりなど持たせれば、新たな流れも生まれそうな予感がする。

小野委員

東大出身、という勉強力より、展開力を感じる。展開が早い。口調は柔らかいが、結論を見据えて話している。ビジネスマンの感覚の持ち主だろう。リスナーからトークの「お題」を募集するのも一助かもしれない。突拍子のないテーマでも、彼なら問題ないだろう。

木宮委員長

なかなか評価が難しい番組。評価も二分するタイプで、裾野を広げるのはそう簡単ではないだろう。番組コンセプトが中途半端かもしれない。エンタメ系に寄せるのか、教育系に寄せるのか。方向性を決めてくと良いと思う。西岡はポテンシャルのある人物なので、今後注目していきたい。

会社サイド

前回(第376回)では安定した1人しゃべりなどを評価頂いた一方、企画上のチャレンジ姿勢などについてご指摘頂きました。今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

次回開催日 令和4年2月1日(火) 11:00~13:00を予定

以上

番組審議会委員長

木宮敬信

